

施策評価シート(対象:H28年度実施施策)

H29年度評価

施策名	産業育成のための連携強化			総合計画コード	561
部名	市民環境部	主管課名	産業振興課	主管課部課コード	030200
関連部課名	—				

1. 施策概要

めざす目的成果	都市に近い住宅として住環境と共存した商工業・農業が発展・発達するとともに、地域コミュニティが向上し、市全体が賑わいと活気に満ちている。				
施策概要	朝霞市商工会や商店会等が実施する事業に対し補助を行い、「あさか産業フェア」等のイベントや商店街等の振興を支援する。また、農業生産者に対する各種補助金による財政的支援を行い、住宅地と共存できるような環境に配慮した事業展開の促進を図る。				
個別計画 関連計画	計画名称	朝霞市中心市街地活性化基本計画	計画期間	H 15 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度
				H 年度	~ H 年度

2. 実施結果

H28年度の 施策の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回朝市を開催した。</li> <li>商工会事業費補助金、商工まつり補助金、商工業者研修事業費補助金、商店街活性化推進事業費補助金等補助を行い各事業を支援した。また、商工会と定期的に連絡調整会議を行い連携に努めた。</li> <li>中心市街地活性化推進事業補助金により朝霞駅周辺の活性化事業を行った。</li> </ul>					
H28年度の 基本概念(コンセプト)の実施内容	安全・安心なまち	産業文化センターの保守点検、施設修繕を適宜実施した。				
	子育てがしやすいまち	親子がふれあい親しめる各種イベントや催しを実施した。				
	つながりのある元気なまち	市民と事業主や農業者がふれあう各種イベントや催しを実施した。				
	自然・環境に恵まれたまち	産業文化センターの施設管理において、省エネルギーを意識し運用を行った。				
総コスト (事業費+人件費)	単位:千円 (決算)	H28年度(見込)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		89,799	—	—	—	—

指標名 (説明)	単位	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	前期基本計画目標 H32年度
		目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画	目標・計画
		実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
① あさか産業フェアに参加した事業所数 (説明) あさか産業フェアに参加した事業者の数	事業所数	67	67	68	68	69
		70	—	—	—	—
② (説明)						
			—	—	—	—

### 3. 施策の分析

達成度  (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 目標・計画を大幅に上回る成果があがっている(5点) <input type="radio"/> D 目標・計画を下回り、十分な成果があがらなかった(2点) <input type="radio"/> B 目標・計画を十分に上回る成果があがっている(4点) <input type="radio"/> E 目標・計画を大幅に下回り、ほぼ成果があがらなかった(1点) <input checked="" type="radio"/> C 目標・計画どおりに成果があがっている(3点)
	(説明) あさか産業フェアに参加した事業所は目標を達成した。
必要性  (ニーズは今後どう変化するか)	<input type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は大きく増加する方向にある <input type="radio"/> D ニーズ及び解決すべき課題は減少する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は増加する方向にある <input type="radio"/> E ニーズ及び解決すべき課題は大きく減少する方向にある <input checked="" type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は現状と変わらない
	(説明) 本市の産業が今後も発展していくためには、市内商工業の発展や商店街が活気に満ち溢れ、地域コミュニティが醸成されることが必要となる。引き続き、商工会や関係機関と連携し、商店街や商工業者、また農業者に対するの支援を継続する。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 商工業者の高齢化や後継者不足、大型店舗やチェーン店舗の進出などといった課題はあるが、市と商工会と事業所が連携するほか、事業者同士も連携することで、地域性を活かした産業施策の展開を検討する必要がある。これらについては、平成29年度から開始する産業振興基本計画の中で捉え、解消していく方向で検討していく必要がある。

### 4. 今後の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 内容の見直し					
	(説明) 商工会や金融機関等と連携し、市内の産業育成につながる情報を収集し、あさか産業フェア等の機会を通じて発信していく。また、あさか産業フェアをはじめとする商工会や、商店会が実施する地域活性化イベントを支援し、市民と事業者との連携、交流を促進するとともに、地域に密着した産業の振興を支援する。新たに農業経営を営もうとする若い世代の確保に向け、さいたま農林振興センター、地元農業協同組合等と連携を強化する。					
行政と市民の役割分担	<input type="radio"/> I 行政の関与(役割)を拡大 <input checked="" type="radio"/> II 行政・市民の関与(役割)バランスを維持 <input type="radio"/> III 市民の関与(役割)を拡大					
	(説明) 市内の商工業や農業を発展、振興していくためにも、市民と商店主、農業者等が連携し、イベントを通して値域に密着した活気溢れる催しの開催に向けて、市もバックアップに努めていく。					
施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	計 (単位:千円)			—	—	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 6事業以上の事務事業の位置付けがあるため、別紙に記載					
審議会等の第三者機関の評価(意見)	【商工会】市内商工業を振興していくためには、市との連携協力が不可欠である。 【商店会】特に意見はない。 【農業委員会】農業者の担い手不足、高齢化などにより遊休農地対策が重要である。					
部長の意見	指定管理者である商工会と連携し、産業文化センターが市内産業の拠点となるようサービス面や機能面での充実を図る。 また、商工業者や農業者が関係する各種催しを開催し、市民との交流の場を引き続き提供していく。					

**施策評価シート【別紙】施策を構成する事務事業の次年度の方向性**

施策名	産業育成のための連携強化		総合計画コード	561
部名	市民環境部	主管課名	産業振興課	主管課部課コード 030200
関連部課名	—			

施策を構成する事務事業の次年度の方向性	事務事業名	総コスト(事業費+人件費)		有効性 貢献度	優先性 緊急性	H30に向けた 投入資源の方向性
		H27決算	H28決算見込			
1	商工総務事務事業	2,010	4,893	4	4	現状のまま
2	商工会支援事業	—	—	4	4	現状のまま
3	商店会支援事業	—	—	4	4	現状のまま
4	起業家育成支援事業	—	—	4	4	現状のまま
5	産業文化センター管理運営事業	65,043	66,243	4	4	現状のまま
6	農業祭事業	—	—	4	4	現状のまま
7	農業振興支援事業	—	—	4	4	現状のまま
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
	計 (単位:千円)	67,053	71,136	—	—	—